

Catch ● ● ● キャッチボール ● ● ● Ball

3

2025

March

Vol.941

～ INDEX ～ 【特集】日本の行事食カレンダー … 1～2

● 女性部全体会議ほか … 3 ● 美唄聖華高等学校へななつぼし寄贈ほか・理事会だより … 4



2/3～6 令和6年産ハスカップの選果作業が花き・野菜集出荷施設で行われました。



一月

正月 ● 雑煮
7日 ● 七草がゆ
15日 ● 小豆がゆ

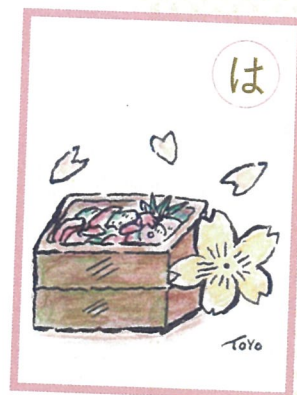


雑煮は室町時代、京都で生まれたといわれる。今は家内安寧、家業繁盛など人それぞれの願いを年神様に祈り祝う。七草がゆは平安時代、殿上人の叙位の日に当たり、名を成すに掛けて食したそう。15日の小豆がゆは豊作を祈って奈良時代から食している。

四月

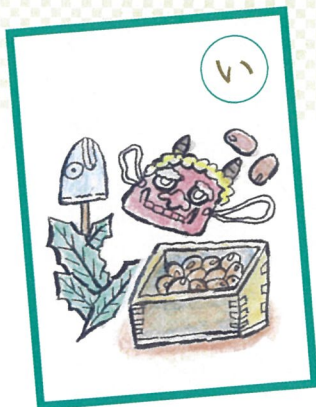
花見 ● 花見弁当

人はなぜかかすみたる空にはんなりと咲く妖艶な桜の花に酔う。元禄の頃、旦那衆の花見弁当は豪華だった。欠かせないのは桜餅。江戸は小麦粉の焼き桜。上方(京坂)は蒸した道明寺粉。塩漬けの大島桜の葉がかぐわしい。



二月

節分 ● いり大豆
イワシ



大阪では大正時代、イワシと麦飯を食って長寿を祈った。玄関にイワシの頭とヒイラギを飾るのは臭いととげで病魔を追いやるため。イワシの頭も信心から。

三月

ひな祭り ● まぜずし ● 貝料理
春の彼岸 ● ぼた餅

まぜずしに上置きする錦糸玉子、紅しょうが、絹さやなどの彩りは春の明るさを表現する。貝は家持ちで金に関する漢字が多い。「入るを企(はか)って出るを制せば財を成し、散財すれば貧する」。春の彼岸は花の季節に合わせたぼた餅。



五月

こどもの日 ● ちまき
かしわ餅

ちまきは弥生時代からある。粽(ち)菅(がや)で角形の筒を作ってもち米を入れた。今はうるち米の粉(うるち米の粉ともち米の粉を混ぜたものもある)を用い、ササの葉で包む。ササの爽やかな香りで保存性を高める。かしわ餅は江戸中期から。西日本にはサンキライの葉を用いる土地もある。



六月

茅(ち)の輪くぐり ● 水無月(外郎(ういろう))
夏至 ● タコ

雨が多い月なのに水無月とはこれいかに。行事食は少ないが、京都では甘煮の小豆を散らした水無月と呼ぶ菓子を食す。残り半年の無事を祈るためだ。土地により、夏至にタコを食す。



私たちの歴史・文化を見直そう

日本の行事食 カレンダ―

七月

七夕(しちせき)・そうめん
『万葉集』・ウナギ

なぜ、たなばたという。飛鳥・奈良時代、神に供える絹布を織る機をいつた。織る女の技術の上達を乞い、索餅(さくべい)・そうめんの祖(そ)を糸に見立ててけん牛、織り女の両星に供えた。ウナギは「夏痩せによし」と言ふものぞ鰻(むなぎ)取り召せ」と『万葉集』にある。



季節ごとの行事やお祝いの日食べる特別な料理、「行事食」を通じて再確認してみませんか。

監修：奥村彪生料理スタジオ
イラスト：とよだ時

八月

盂蘭盆会(うらぼんえ)・精進料理

お盆は先祖の供養だけではなく、夏作物の収穫祭でもあった。精進料理を作って供え、かつ食した。今は作る家は少ない。精進揚でも作って盛夏を乗り切りたい。タンパク質や炭水化物など以外に油脂も大切。油断大敵というではないか。



十一月

七五三・千歳あめ

日本人は奇数を好む。3歳の女兒、5歳の男児、7歳の女兒の健やかな成長と守護を願って宮参りをする。お土産は千歳あめ。始まりは18世紀初頭。江戸・浅草のあめ売りが千歳あめと文字を入れたあめを長袋に入れたのが始まり。



十二月

大みそか・みそかそば

昔、江戸では大みそかは借金の取り立て日。庶民はツケで買い物をした。支払いは盆と大みそか。商人はツケの回収に必死。無事終わり、ヤレヤレと出前のそばを食べて新年を迎えた。「安堵(あんど)して年越しそばを食う夜かな」の川柳あり。

九月

重陽の節句・浮き菊の酒
月見・萩の餅

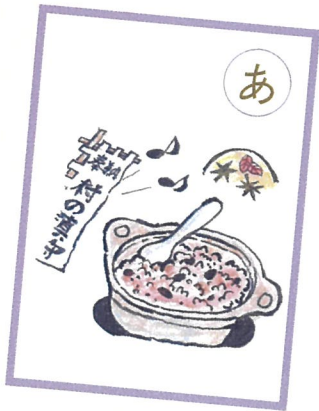
奈良時代、杯の酒に菊の花弁を浮かべて長寿を祈った。菊なますもうまい。月見にススキを飾り、月見団子を供え、萩の餅は好物で共に手作りして一家だんらん。そんな心の余裕が欲しい今。



十月

秋祭り・小豆入りおこわ(赤飯)

おめでたい日に作るおこわの中で、ふくいくとしたもち米と小豆の香が秀でていのは新物で作る秋祭りの頃。小豆のゆで汁を練れば練るほど赤い色が映えた。添えるごま塩の黒は小豆の色を際立たせる。アワ蒸しもいい。



み



力を合わせ活発な女性部活動を



活発に意見や要望を出し合う女性部員

女性部は1月23日、JA3階大会議室で令和6年度の女性部全体会議を開き、部員17名が参加。令和7年度の活動について協議したほか、新役員を選出した。

開会で谷村清美女性部長は「部員数は減少しているが、少ない人数の中で部員一人一人が楽しみ、垣根のない活動をしていきたい。そのために皆様の貴重な意見や要望を聞かせてほしい」と挨拶した。

部員は3グループに分かれ、令和6年度の活動内容を踏まえて意見や要望を出し合った。協議の結果、美唄市内の幼稚園・保育園の子供達に部員が育てたミニトマトやヨーグルトを寄贈する「市民支援活動」や養護老人ホームに未使用のタオルや下着を寄贈する「タオル1本運動」などは今後も継続していくとし、JAや青年部と共同で取り組むJAびばい祭や手作りのスイーツやしめ飾りを展示即売する女性部感謝祭も同様に実施する。

同部は2月21日に第72回通常総会を行い、総会后より新役員で令和7年度の女性部活動をスタートさせる。部員減少に伴い、簡略化はあるものの、一人一人が協力し合い活気あふれる女性部活動を展開していく。



挨拶に立つ伊藤組合長



良品質生産と安定供給目指す

美唄市グリーンアスパラ生産組合（伊藤重男組合長）は2月3日、JAびばい3階大会議室で栽培講習会と令和6年度の総会を開催し、組合員22名が出席した。

栽培講習会は、酪農学園大学の園田高広教授が講師を務め、良品質生産に繋げるための栽培技術を組合員同士で確認した。

総会は、令和7年度の事業計画や収支予算など全6議案を可決した。



未来を担う 学生達を応援

J AびばいとJ Aみねのぶは12月23日、共同で美唄市聖華高等学校の宿舎に新米「ななつぼし」を贈り、寄贈式が行われた。

同市の豊富な農産物を食べてもらい、魅力や特性を知ってもらうことに加え、親元を離れて生活している生徒の支援が目的。J Aびばい伊藤正人代表理事組合長は「特産品であるお米の美味しさと農業の魅力を感じてほしい」と話した。



寄贈式の様子



手作りカレーを味わう齋藤実さんと児童

中央小5年生 感謝伝える

美唄市立中央小学校の5年生は12月18日、1年を通して学習してきた「農業科」の成果と関係者に感謝を伝える「感謝祭」を開き、ほ場を提供した齋藤実さん（上美唄）や各事業に協力した青年部・女性部・J A職員も招待された。

児童は楽器演奏や寸劇で学んできた農業について発表。ほかにも参加者とのレクや保護者手作りのカレーを味わい、親睦を深めた。

▼理事会だより

定例理事会

1月21日

臨時理事会

1月27日

《報告》

- ①令和6年12月貸付実行報告
- ②令和6年12月末現在、業務財務報告
- ③信用事業リスク管理強化委員会報告
- ④農家経済改善対策委員会報告
- ⑤事業推進委員会報告
- ⑥令和6年度棚卸資産調査について
- ⑦令和6年度特定組合員の収支実績報告
- ⑧大豆等の数量払仮渡金実行報告
- ⑨令和7年度産米「生産の目安」配分・設定状況報告
- ⑩令和7年度第2回作付意向調査結果報告
- ⑪令和6年度決算推定報告
- ⑫その他

《報告》

- ①コンプライアンス委員会報告
- ②J Aびばい農場活用推進委員会報告
- ③令和6年度コンプライアンス事故報告
- ④令和6年度コンプライアンス・プログラム検証について
- ⑤役員報酬審議委員会答申報告
- ⑥その他

《議案》

- ①コンプライアンス・マニュアルの一部改正について
- ②J Aびばい不祥事再発防止策について
- ③令和7年度コンプライアンス・プログラムの設定について
- ④「対策後」収支シミュレーションの作成について
- ⑤目的積立金の取り崩しについて
- ⑥根抵当権の抹消について
- ⑦特定組合員に対する資金の貸付について
- ⑧年度末手当の支給について
- ⑨その他

《議案》

- ①役員賠償責任保険契約の締結について
- ②退職給与規定の一部改正について
- ③特定組合員に対する資金の貸付について
- ④その他

…全議案承認

…全議案承認



ふたご座 全体運：手詰まりを感じていたことに活路を見いだせます。小まめに情報収集を。友人の意見を参考にするのもお勧めです
健康運：食欲が増加。ローカロリーの食材に注目を幸運の食べ物：春キャベツ



おうし座 全体運：少しお人よしが過ぎてしまうようです。できないことまで引き受けないように。用事を整理し、予定を立てて
健康運：肩を回して肩凝りを予防。日頃の心がけが大事幸運の食べ物：キウイフルーツ

J Aびばい役員(専務班)は令和6年10月30日から3日間、台湾にて視察研修を実施しましたので、ご報告いたします。

【台鼎國際科技股份有限公司】
 (台鼎國際テクノロジ(株))

研修日 令和6年10月30日
 視察先 台湾 台中市

台鼎國際科技股份有限公司は、植物の生長に適した環境の研究と施設などの開発を行っています。高温多湿で熱帯気候の強い日差しと、突然の豪雨が交互に発生する天候により植物の生育に悪影響が生じるため、この課題に対応できるハウスの建設と、天井の開閉装置やAIによる自動給水装置などを開発。さらに同施設を用いた野菜や果物を生産しています。

トマトを始め10種類ほどを栽培して量販店などへ出荷しており、1年を通して良質生産するために、耐熱、降雨を避ける3重構造の天井開閉装置を装備していました。ハウス施設はパイプハウス構造ではなく高強度チャンネル鉄とアングル鉄を使用しており耐候性は高く、固定式防鳥防虫ネットや可動式遮光ネット、ビニールの開閉などもスマートフォンから操作できるよう工夫され、省力

化できる装置の開発にも取り組んでいます。栽培方法は水耕栽培のオランダ式で、1株につき1.8畝のマイクロ栽培バックを使用。さらに土壌は疑似土培システムになっています。また、天候と室温を考慮したAI機能装置を用いた水管理を人員削減のもと進めていました。



同社は国内だけではなく日本、中国、タイ、シンガポール、インドネシアなどの国々で技術構造特許を取得しています。一方で福祉施設にも力を入れ、作業台の高さや幅を考慮したほか、植物や太陽光にふれた癒しとリラククス効果を得るためのハ

ウス建設も手掛けています。急速な経済成長を遂げている台湾ですが、国としてIT育成を推進し技術力を高めており、さらにイノベーションを起こす企業が徐々に増え、農業分野でもさらにスマート化が進むと感じました。



【農業部農業試験所】
 研修日 令和6年10月30日
 視察先 台湾 台中市

台湾は日本同様に米が主食であり、米の重要性は非常に高いそうです。ですが、米の消費量が徐々に減り、食文化の変化から輸入に頼らざるを得ない肉と小麦の消費が年々増加。食料自給率では32%ほどまで低下しています。米の個人年間消費量

は44キと落ち込み、国としてもお米の消費拡大に力を入れているとのことでした。

農業部農業試験場は日本で言う農水省にあたる機関で、作物・遺伝資源・バイオテクノロジ・農芸化学・植物病理学・応用動物・農業工学の6つの機関で組織され、230名ほどの職員が研究や開発に取り組んでいます。私たちが訪問した先では米の品質や病害抵抗性、害虫抵抗性、倒伏耐性、高収量などについて研究を行い品種改良に取り組んでいます。施設は129畝の面積を保有し、そのうち96畝で灌漑および排水施設を備えており、台湾で最高の研究環境で試験が行われていました。



しし座 全体運：面倒な相手ほど丁寧に接しましょう。経験談には今のあなたに役立つ話が入っているはず。旅行の計画につき
 健康運：生活の中に香りを取り入れてリラックス
 幸運の食べ物：キュウリ



かに座 全体運：周囲からの支援が心強いとき。口うるさいと感じる助言にも聞いておくだけのメリットがあります。仕事優先で
 健康運：クイズで頭の体操を。ヘッドマッサージも◎
 幸運の食べ物：ウリイ



品種改良では、40度にも気温が上がるため、耐熱性品種の開発が進められています。1品種が完成するまでに日本と同様7年から11年の月日を要し、品種改良には日本の「コシヒカリ」も使われているとのことでした。

暑さにより「いもち病」が多く発生するため、対抗性の品種改良も行われAI診断を使用した交配が行われています。管理作業はドローンカメラを活用し作物の状況を確認、葉色を観て施肥量を考慮して進めており、刈り取りの適期判定にも使用しているとのことでした。台湾での稲作は二期作で行われており、米の自給率は103%、日本のような生産

調整は行われていませんでした。台湾は日本と同じ短粒のジャポニカ種が主流で、脂の多い料理や丼物に合うように水を少なめに炊飯しており、小粒で固く、ぱらぱら感があり粘りの少ない米でした。



食味はあまり気にならない程度で、日本でも西友や業務スーパーなど安価な米として取り扱われています。その国々の食文化にあった品種改良が行われていることがわかる研修でした。

【スーパーマーケット】

研修日 令和6年11月1日

視察先 台湾 台北市

台北市内の高級ショッピングセンター内にある「ブリーズスーパー」

を視察しました。

輸入食材を豊富に取り扱っており、日本各地の米が店頭で陳列され、手作りおにぎりも販売されています。北海道米の販売価格は2kgで560円〜600円（2,600円〜2,800円）でした。

日本食は一般食品から菓子や日配品と様々な商品が取り揃えられ店内は綺麗に整えられています。販売価格は全てが日本と比べかなり高く、台湾での初任給が日本の約半分以下といわれていることから、台湾人にとって日本の食品は日本人以上に高く感じると思います。また、富裕層向けの高級品の店舗であることから数量の動きは小さいと感じました。



研修参加者

専務理事	土屋 雅博
代表監事	羽田 勝美
常務副委員長	林 泰寛
常勤監事	宮崎 邦彦
監事	林 昭次
理事	水上 和也
管理部長	浅田 昭二

J A びばい役員（組合長班）は令和6年11月5日から3日間、大阪・京都・広島にて視察研修を実施しましたので、ご報告いたします。

【幸福米穀株式会社】

研修日 令和6年11月5日

視察先 大阪府

幸福米穀株式会社は1968年、現会長の北本明氏が100万円を創業資金に「幸福町米穀店」を創業し、初年度で1億2,300万円の売上を達成しました。その4年後に「幸福米穀株式会社」を設立し、現在では年商100億円（グループ全体170億円）を超える企業へと成長、J A びばいとの取引は平成26年産より開始。令和6年産は「ななつぼし」を20トンほど販売しています。

令和元年に建設した月間6,000トンの処理する精米施設と2,000トンの収容できる移動ラック式保管の玄米低温倉庫が併設された工場は、最新のAI技術を導入し自動設備化による手作業時間の大幅な軽減や夜間精米、ヒューマンエラーを防ぎ、品質や製造管理に費やす時間の増加を実現したとのことでした。

創業以来、本当に美味しい米の販売に取り組み、卸売を主力に多角的

な事業を展開しており、特に主力商品である無洗米は、安全・品質・味のすべての面で高い評価を得ています。



食の安全・安心への社会意識の高まりに答え、生産から販売に至る一貫した管理システムを構築し、美しく安全な米を提供できる体制づくりを目指しています。また、8社4部門で組織されている「幸福ホールディングス株式会社」は米を原料とした新たな食料や、玄米を主軸にした商品の企画、お米由来の優れた成分に着目した美容商品の開発も行っており、卸売業だけにとられずさらなる価値創造に挑戦している企業の姿を見ることが出来ました。

各事業は次のとおり。

①食品部門

米卸・精米事業、ベーカリー事業（インスタアーベーカーリー）、リテール事業（シャトレーゼFC・まいどおおきに食堂FC）、加工・冷凍食品事業（グラノーラ・ブラウンライスクッキー）

②健康食品部門

通販事業（特定保健用食品）、マテリアル事業（玄米由来RBパウダー・もみ殻由来シリカ）

③美容部門

美容事業（美容商材卸・販売、ヘアサロン）

④環境関連部門

バイオ事業（非食用米ライスレンジ）、アグリ事業（粃穀調達・加工、食物工場）

【黄桜株式会社】

研修日 令和6年11月6日

視察先 京都府

J A びばいの取引先である大倉アグリ株式会社（東京都、令和4年産より取引開始、6年産米200トン、規格外小麦260トンなど）が酒米を販売している黄桜株式会社（以下、黄桜）は、1925年京都府伏見区新町において「松本治六郎商店」を起こし、銘酒「黄桜」の礎を築き、1964年に「黄桜酒造株式会社」、

2006年に「黄桜株式会社」（現在の社名）となりました。

黄桜は日本酒業界内では相当若い企業ですが、「独創的な発想」と「斬新な行動」で、業界では先駆けて行ったテレビCM（河童キャラクターのCM）や、概念にとられない商品開発などで消費者の支持を得ています。



今回は黄桜が運営している黄桜記念館を訪問し、日本酒の造り方や日本酒の種類、選び方や飲み方、料理との相性などのビデオやパネル、ジオリマ展示などを見てまわりました。記念館の中庭に本物の黄桜（御衣黄・ギョイコウ）が植えられており、創業者が黄桜の花が好きだった

いづ座 全体運：理不尽な状況に心を痛めることがあるかもしれませんが。運勢は下旬から上昇。様子を見て待つのも1つの手
健康運：無理はしないで。古傷や持病はしっかりケア
幸運の食べ物：ジャガイモ

さそり座 全体運：好調運。長年の苦勞が報われる出来事の前感です。新しいことを始めるのも吉。お花見に出かけましょう
健康運：筋トレが吉。ハードなスポーツも楽しめます
幸運の食べ物：サヤエンドウ

ことから社名を黄桜と名付けたそうです。

酒米は一般的に山田錦という品種が多く使われていますが、京都独自の酒米もあります。それが「祝（いわい）」という品種で、1933年に京都で誕生し酒米として好評価を得ていましたが、戦争の影響や草丈が高く倒伏し易いのが原因で長い間姿を消していました。しかし「京都の酒米で京都独自の酒を造りたい」という思いから、J.A京都や京都府、各関係機関の協力のもと栽培法の改良がなされ1992年に復活したそうです。

500年以上継承されている日本酒や焼酎などの「伝統的醸造り」が、令和6年12月にユネスコ無形文化遺産に登録されました。黄桜は伝承の技を受け継ぎ、日本酒造りに日々向き合い邁進しています。

【株式会社オクモト】

研修日 令和6年11月7日

視察先 広島県

株式会社オクモトは1885年、奥本仙之助氏が米屋を創業。1971年に奥本一弘氏（4代目）が株式会社オクモト（以下、オクモト）を設立し、現在では年商45億円（グループ全体73億円）の企業です。5代目で現在の代表者である奥本浩之氏

は、30年ほど前から気候の変化や品種改良などで北海道米の可能性を重視されていたようです。

J.Aびばいととの取引は2018年から始まり、年間約600トン（主食350トン、特定米穀250トン）販売しています。主力の「ななつぼし」においては「J.Aびばい雪蔵工房米」として量販店で販売しています。



近年、米などの農産物をはじめとする生産者の減少や、令和6年8月にはスーパーや量販店から米がなくなつた「令和の米騒動」、目まぐるしく変わる厳しい環境のなか、「変化の時はチャンスである」と奥本社長は語られました。

オクモトでは米や雑穀商品の販売

のほかに、おむすび専門店「おむすび膳七」やキッチンスタジオ「スペースオクモト」を展開しています。

物流体制を強化するゼン・ロジネットを統合する「膳グループ」を組織し、米の生産から消費までの架け橋となる体制を確立。消費者や産地とのコミュニケーションを図りながら、米を通じて・楽しさ、喜び・満足を創造していきたいと考えており、時代の進化にも対応しながら「次の世代に続けられること」の重要性も大切にされていました。

この4日間の視察研修では、すべての取引先で「北海道米は食味も良く、お客様ニーズは年々高まっている」「食糧基地は北海道」という言



葉をいただき、都道府県に於ける北海道米の知名度や位置づけを改めて実感することができました。

「びばい産米の取扱量をもっと増やして欲しい」という要望もいただき、今後も消費地のニーズに応えられるよう日々集荷向上に努めます。

研修参加者

代表理事組合長	伊藤 正人
常務理事	坂内 文仁
常務副委員長	谷津 良一
理事	鈴木 盛輝
理事	山田 幸央
理事	桑折 尚宏
理事	真鍋 康巨
理事	好川 博之
販売部長	村井 敦

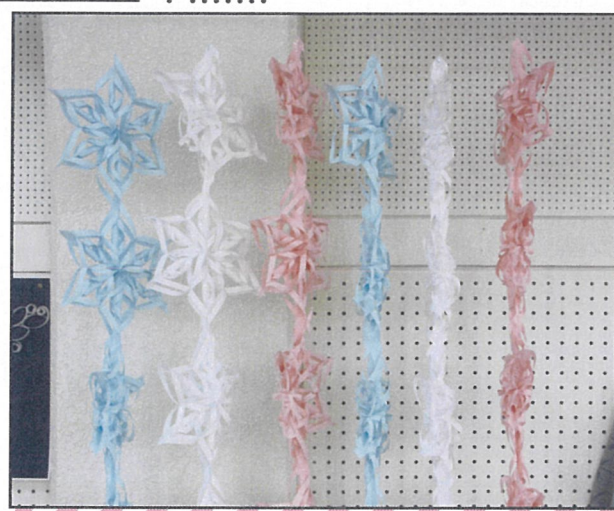
最後に、役員にこのような素晴らしい研修の機会を与えていただき感謝申し上げます。

これをもちまして、組合長班・専務班の研修報告といたします。

令和5年度 女性部生活作品展の作品をご紹介します



シマエナガの小物
広域グループ 藤井 恵美子



ペーパークラフトのオブジェ
広域グループ 藤井 恵美子

女性部員手づくりの素敵な作品をごらんください

こよみ・行事

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- 6日 ○事業推進委員会～7日迄
- 14日 ○企画会議
- 17日 ○常務委員会
- 19日 ○定例理事会
- 20日 ○春分の日
- 26日 ○春季地域別懇談会
～31日迄



JAびばい退職金専用定期貯金
『ドリームライフ』のご紹介!

【お取扱期間】

令和7年3月3日～令和8年2月27日

【特典金利】

- 店頭金利に **0.3%** 上乘せ
- JAびばいで年金受取予約をされた方には、さらに **0.1%** 上乘せ



©よりぞう

【お預入金額】 **100万円以上** (退職金受取金額が上限となります)

※申込時に「退職所得の源泉徴収票」や「退職金支払明細書」「退職金振込通帳」など退職金のお受取を確認できる書類をご提示いただきます

【お預入期間】 **1年～5年(自動継続式)**

【ご利用いただける方】

- ・退職金お受け取り後1年以内の方
- ・退職者本人のみで1回限りのご利用となります

お問い合わせはコチラ

JAびばい 金融課 貯金係 TEL 63-2162

▶ JAの概況

<1月末>

○皆さんの貯金	24,809,806千円
○皆さんへの貸出金	5,161,740千円
○皆さんの出資金	698,930千円
○組合員数	(正) 731人 (准) 3,392人 (計) 4,123人

▼山形一 井龍雄さん (六十六歳) 一月二十九日死去	▼山形一 須藤ミヤ子さん (八十七歳) 一月八日死去	▼鈴木 穂さん (八十三歳) 一月八日死去	▼鈴木 悦子さん (八十六歳) 一月二十六日死去	▼茶志内三 悦子さん (八十六歳) 一月二十四日死去	▼古野 豊さん (七十七歳) 一月二十二日死去	個人 一月二十二日死去
-------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	----------------------------------	----------------

お悔やみ申しあげます
美眼市農協生活改善運動推進協議会

編集後記

1月18日〜19日の2日間、「スプラの會」(JAびばいの若手農協職員を中心に構成されている組織)で帯広方面へ旅行に行ってきました!

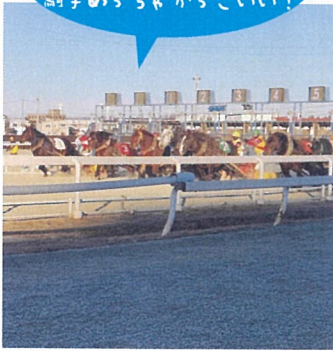
昨年は函館方面に行きましたが、今回もとても楽しかったです。初めて帯広市に行きましたが、名物の「豚井」が美味しくて驚きました!

腹ごしらえをした後は、スケート体験!とても楽しみでしたが、あまりにも滑れなさ過ぎて…。(ほかのメンバーはスイスイと滑ってる!)

お次はばんえい十勝にてお馬さんのレースを見学しました!巨大な競走馬はとても迫力があり、見ごたえ抜群でした。競馬が好きなお馬さんの気持ちが少しはわかったと思います。

旅行に参加したメンバーはみんなとても面白くて思い出に残る旅行になりました!

お馬さんほどいいナドどこが愛しかったです。騎手めっちゃかっこいい!



1日農業バイト daywork (デイワーク) で労働力の確保を!

日頃よりJA事業をご利用いただき誠にありがとうございます。

人口減少や高齢化が進む昨今、組合員のみなさんも農作業パートを見つけるのに大変苦労されていると思います。JAびばいではこれまで無料職業紹介としてご登録いただいている農作業パートの方々を、水稻の種まきや田植えなど人手が不足する時期に組合員のみなさんにご紹介してきました。

しかし、JAも年々農作業パートの登録者が減り、人手を必要とするみなさんのご要望に応えられない状況になっています。

そこで!!「1日農業バイト daywork (デイワーク)」という農作業のマッチングサービスをご紹介します。



daywork (デイワーク) は農家と求職者を1日単位で結びつけるサービスです。

daywork (デイワーク) アプリで農家側が提示する求人情報(作業内容や日程、給与など)と、登録している求職者の希望が合えばマッチングが成立します。

- 利用料は無料。仲介手数料なども発生しません。
- 初回登録が難しい場合はJAがお手伝いします。

お問い合わせは JAびばい 営農推進課 TEL 63-2165